

各健診施設の精度管理担当者 様

第二回がん検診のプロセス指標の調査について

日々の健診のお仕事、ご苦労様です。

さて、エビデンス指標委員会では、健診の質指標（Quality Index、QI）の1つとして、がん検診のプロセス指標の調査を実施したいと思い、2020年に一度実施させていただきました。

厚労省の「がん検診事業の評価に関する委員会」は、地域住民に対するがん検診のプロセス指標（精検率、精検受診率、陽性反応的中率、がん発見率など）に対して、それぞれの許容値と目標値を、肺がん、胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんについて明らかにしてきました。2018年3月にはこれらの指標を「職域におけるがん検診マニュアル」の中でも参考にすることが望ましいと述べていますが、一方では職域は地域よりも若年層の受診者が多いので、プロセス指標の数値については、今後別個に数値を示す予定とのことです。

これらの状況に鑑み、当委員会では、日本総合健診医学会の会員施設に対して、WEBを用いたがん検診プロセス指標の調査を実施し、将来的には当学会としての許容値や目標値を出して行きたいと思っている次第です。

なお、がんの最終診断までのフォローアップを行えていない施設におかれましては、「要精検率」や「精検受診率」までの記載でもけっこうです。

今回の調査は、2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）に貴施設でがん検診項目を受診した方で、2023年3月31日までに精密検査で診断が確定された方です。調査票への入力期限は、施設調査票と同じ 6月26日（月）～7月20日（木）とさせていただきます。

今回の調査の全体結果に関しましては、各プロセス指標の度数分布を作成し、皆様方にお返ししたいと思います。皆様方の施設の結果を全体結果と比較して、相対的な位置を確認していただければありがたいです。

どうぞ趣旨をご理解いただき、調査にご協力賜ります様お願い申し上げます。

2023年6月14日

日本総合健診医学会 エビデンス指標委員会委員長
山上孝司